

なかつか 亮



高齢者の不安を取り除き、孤立死を防ぐ

品川区緊急通報システムに 生活リズムセンサーが付きました

共産党が予算議会でも取り上げてきた質問を、このニュースで紹介してきましたが、今回は充実させた事業を紹介します。今年4月から緊急通報システムに、生活リズムセンサーと火災センサーが追加されました。利用料は本人が区民税非課税者で月額500円です。共産党は高齢者の孤立死を防ぐ支援強化を繰り返し求めてきました。制度を紹介します。

高齢者の孤立死は深刻な社会問題。「緊急事態がもっと早く伝われば…」と不安の声があがっています。

品川区内では在宅介護支援センターや生活福祉課など区が

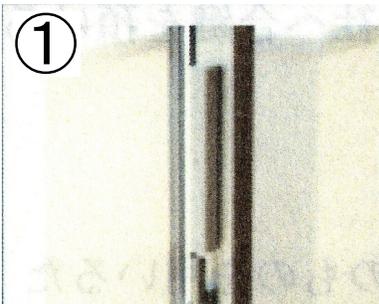
把握している孤立死だけで平成22年度は25人。警察(監察医)などを含めると、それ以上と言われます。

共産党は高齢者や家族、地域の声を取り上げ、孤立死を防ぐ支援強化を求めてきました。裏へ

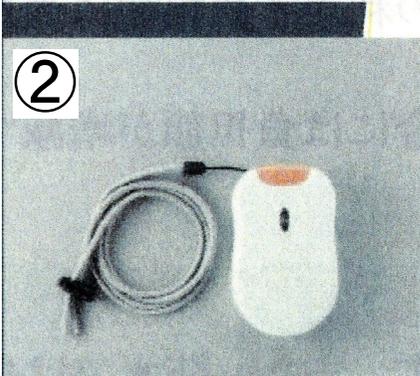
新しい緊急通報システム

4月から機能が3つになりました。①はトイレのドアなどに付けるセンサー。一定時間が経過しても居住者の動きが感知できない場合、警備会社へ自動通報。②は携帯型の救急ペンダント。具合が悪くなった時に押し、自動通報。③は火災センサー。火災の熱を感知し自動通報。対象者など詳細は裏面へ。

①



②



③



緊急通報システム設置のご案内

品川区問い合わせ窓口 高齢者福祉課 電話 5742-6728

新しい緊急通報システムを紹介します。この事業は、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦などが、自宅内でいざという事態が発生することへの不安解消のため、機器による安否確認、緊急通報を行い、24時間の安心・安全を提供するものです。

これまではペンダント型のみでしたが、4月からは生活リズムセンサーと火災センサーが追加され、対象者に日中独居の高齢者世帯も追加されました。既に利用されている方は、切替の申請が必要となります。

対象者：65歳以上の見守りが必要な高齢者で、
①ひとり暮らし、高齢者のみ世帯、日中独居の高齢者世帯。
②高血圧の薬服用など身体上慢性疾患がある方。①、②の要件を満す方。

利用料：①本人が区民税非課税者（介護保険料所得段階1～5）月額500円
②上記以外の方 月額1800円

申込み：お近くの在宅介護支援センター又は区窓口。既に、介護サービスを利用されている方は、担当ケアマネージャーへの相談をオススメします。

その他：緊急通報は警備会社に報告されます。自宅に入室する事態に備え警備会社に合鍵を預ける必要があります。お問い合わせはお気軽に なかつか亮

家具転倒防止器具助成の対象が、少し広がりました
昨年度までは高齢者、障害者のみ世帯でしたが、今年度は要介護3以上の高齢者や2級（度）以上の障害者がいる世帯も対象になりました。共産党は、対象を戸建住宅やマンションなど一般世帯へ拡大するように求めています。現状の制度を紹介します。

対象者

- ① 65歳以上のみ世帯
 - ② 障害者手帳取得のみ世帯
 - ③ 要介護3以上の65歳以上高齢者がいる世帯
 - ④ 2級（度）以上の障害者がいる世帯
- ①～④に該当する世帯が対象

助成内容

区窓口申し込むと、シルバー人材センターの担当者がご自宅を訪問。家具の転倒防止器具の選定・購入・取り付けを2万円を上限におこないます。

利用料

区民税非課税世帯は上限額まで自己負担無し。
課税世帯は上限額1割負担（2000円）

問い合わせ

品川区高齢者いきがい課
電話 5742-6735

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

5月25日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231